様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 550519	長寿お祝い会事業	主管課名	高齢福祉課
この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		
	施策	みんなで助け合える福祉のまち	課長名	深谷　真由美
	基本事業	高齢者に安全・安心な地域社会の推進		

(1)事業の概要

多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者に感謝の意を表し、その長寿を祝い、高齢者をお祝い会(観劇会）に招待する。
招待者
・古稀の夫婦（夫婦とも70歳以上で、年下の者が70歳に達した夫婦）
・老人クラブ会員
・65歳以上の老人クラブ未加入者

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	長寿お祝い会に参加した人数	人
②		
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	古稀の夫婦、老人クラブ会員の一部、老人クラブに加入していない65歳以上の一般応募者をコンサートに招待する。
26年度計画	□前年と同様 ■変更あり → 変更内容　H26から550520　古稀の夫婦お祝い事業を統合

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①古稀の夫婦お祝い事業対象者数
②地区老人クラブ会員で各クラブから観劇チケットを受け取った人数
③老人クラブ会員外の65歳以上の一般公募で当選した人数

その指標

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	古稀の夫婦お祝い参加者	人
②	老人クラブ会員で観劇チケットを受け取った人	人
③	老人クラブ会員外の65歳以上の一般公募で当選した人	人

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①古稀の夫婦でお祝い会に申し込みする
②老人クラブ会員で観劇チケットを申し込みする
③老人クラブ会員外の６５才以上でお祝い会観劇チケットを申し込みする

その指標

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	古稀の夫婦でお祝い会に申し込みした人数	人
②	老人クラブ会員でお祝い会に申し込みした人数	人
③	老人クラブ会員外でお祝い会に申し込みした人数	人

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して住み慣れた地域で生活してもらう

その指標

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	事業に参加した高齢者の数	人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	人	940	940	940	940	940	940
	②							
	③							
(6)の対象指標	①	人	476	262	540	421	434	599
	②	人	384	598	320	439	426	270
	③	人	80	80	80	80	80	80
(7)の成果指標	①	人	476	262	540	421	434	599
	②	人	384	598	320	439	426	270
	③	人	80	80	80	80	80	80
(8)の結果の成果指標	①	人	940	940	940	940	940	940
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	03	項	01	目	06

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	4,409	4,428	5,111	5,135	5,229	5,322
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,409	4,428	5,111	5,135	5,229	5,322
人件費B		千円	1,432	826	826	826	826	826
	正職員従事時間×人数	時間×人	95 × 4	55 × 4	55 × 4	55 × 4	55 × 4	55 × 4
	正職員以外の人件費	千円		10	10	10	10	10
その他費用C		千円	68	69	69	69	69	69
トータルコストA+B+C		千円	5,909	5,323	6,006	6,030	6,124	6,217
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	12	20	11	14	14	10
	②	千円/　人	15	9	19	14	14	23
	③	千円/　人	74	67	75	75	77	78

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	550519	長寿お祝い会事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
から	高齢化に伴う対象者の増加が課題となる。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
長寿をお祝いするため	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：高齢化率の上昇、高齢者数の増加	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	なし	
			この事務を行う根拠又は理由	多年にわたり社会の進展に貢献してきた高齢者に感謝の意を表し長寿をお祝いする。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	■できる → ■拡大 □できる → □縮小 □できない	内容	古稀をむかえた夫婦だけでなく単身者も対象とする。	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 □できる → □拡充 □できる → □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	□影響が大きい ■多少影響がある □影響はない	理由又は内容	楽しみにしている高齢者がいるため、楽しみの一つをなくすことになる。	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	会場へいけなかった人にも後で鑑賞できるようケーブルTVで中継録画し4回放送しているため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 ■ある → □庁外事業 □ない	類似事業名	古稀のお祝い	
			類似事業との再編の可能性	■ある → □ない	内容：H26年度から古稀の夫婦お祝い事業と統合する。
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある → ■現状で適正 ■ない → □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	■改善	□現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	↑ 向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	古希の夫婦お祝い事業の対象者拡大を機に平成26年度から長寿お祝い事業と統合し、事務の合理化、効率化を図る。					